

「授業力向上推進プロジェクト」

飛騨地区 子どもの発達と保育・福祉

「子育てを通して家庭や地域の生活を主体的に創造できる力を育てる」

～主体的・対話的で深い学びを実現できる

授業実践と教材研究～

# 発表内容

1. 研究のねらい
2. 地区研究の歩み
3. 本校の研究実践
4. まとめと今後の課題

# 1. 研究のねらい

少子高齢化・人口減少



地元で子育てを担い、  
地域社会の未来を支える人材の育成

- ・地域社会の課題を自分ごととして捉えさせる。
- ・主体的対話的で深い学びを実現する授業方法を工夫する。

## 2. 地区研究のあゆみ

6月 研究テーマ・研究内容・進め方の確認

8月 (会場 飛騨神岡高等学校)

【講演会】「河合小地域学校協働本部の取り組み

河合小地域学校協働本部「ここあ」

野村 俊巳 氏

【研究協議】各担当分野の授業案の交流

11月 (会場 吉城高等学校)

【研究授業】吉城高等学校

【研究協議】授業実践報告

児童の数や人口が減少  
する中、どうやって地域全  
体を巻き込み、子どもた  
ちを育てていくのか、具  
体的な取り組みについて

# 3. 本校の研究実践 (1) 生徒の実態把握

## 将来子どもがほしいですか？

Microsoft Forms

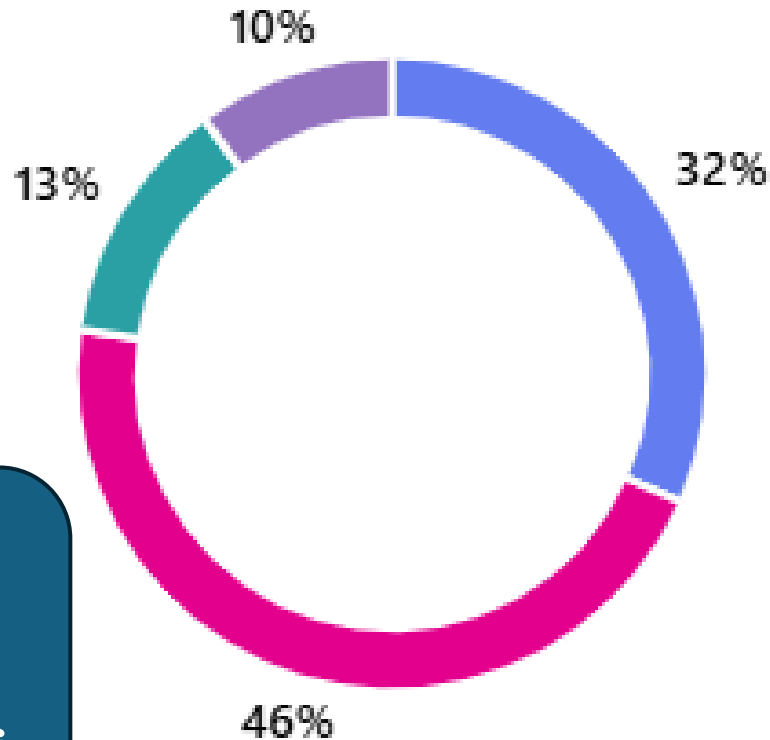
78%

- ぜひ欲しい
- どちらかという欲しい
- どちらかという欲しくない
- 欲しくない

### ほしい理由

- ・かわいいから
- ・楽しそうだから
- ・癒される
- ・経験してみたい

プラスのイメージはあるが、親としての責任や現実的な大変さを考えられていない。



子育てへの理解不足や自分だけを優先する考え方になっている。

### ほしくない理由

- ・自分のためにお金を使いたい
- ・育てられる自信がない
- ・想像できない
- ・子どもが苦手

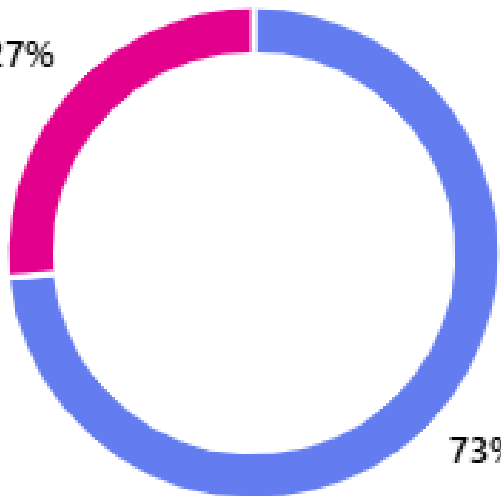
# 3. 本校の研究実践 (1) 生徒の実態把握

子育てを社会全体で支えることは重要だと思いますか？

100%

- とても重要だと思う
- 重要だと思う
- あまり思わない
- まったく思わない
- わからない

27%



すべての生徒が重要だと考えている!!

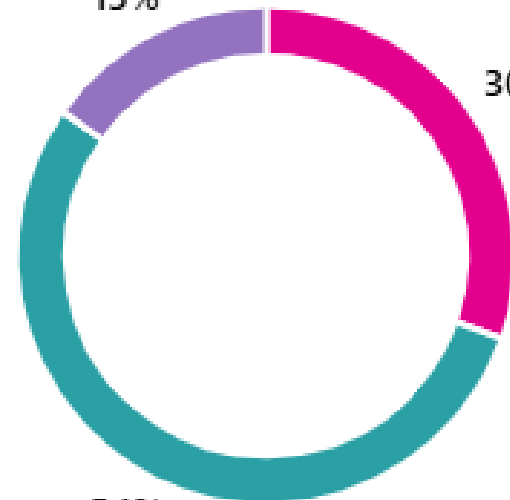
自分の住む地域の保育や子育てに関わる支援について、どのくらい知っていますか？

- よく知っている
- ある程度知っている
- あまり知らない
- まったく知らない

69%

Microsoft Forms

15%



どんな支援があるかはほとんど知らず、子育てを自分ごととしてとらえることができていない

# 3. 本校の研究実践 (1) 生徒の実態把握

子育てを社会全体で支えるために、どのような取り組みが必要だと思いますか？

- ・経済的援助
- ・育てやすい環境を作る、守ること
- ・サポート事業や補助金など
- ・周りの人たちの理解
- ・子育て支援センターが必要
- ・子どもがいない人達も子育てについて知る
- ・子供と遊んだり、関わったりするボランティアを開催する

支援の方向性は理解できているが方法が抽象的。  
自分たちにもできることがあるという視点もあり。

子育てや保育に対して、自分自身ができることは何だと思いますか？

- ・子供とたくさんかかわる
- ・もっと関心を持つ
- ・子育てや保育についてを知る、学ぶこと
- ・ボランティアなどに参加する
- ・こどもを守ることに協力すること
- ・わからない

Microsoft Forms

自分たちにも何かできることはあると考えている生徒が多いが、具体的に何をするとよいのか考えられていない。  
親が何に困っているのかあまりわかっていない。

### 3. 本校の研究実践 (1) 生徒の実態把握

#### 目指す生徒像

親や地域の  
役割

子どもの発達  
や保育に関する  
知識

様々な人と協働して  
課題解決に向けて  
主体的に  
行動できる生徒

子育ての  
意義

地域課題  
への関心

子どもとの  
関わり

### 3. 本校の研究実践 (2) 単元指導計画

#### 単元を貫く課題

子どもが健やかに育つ社会のために、  
私たちは地域とどう関わり、共に行動  
できるだろうか。

1時間目	子どもの育つ力を知る	
2時間目	命を育む	★
3・4・5時間目	子どもと関わる	
6・7時間目	子どもとの触れ合いから学ぶ	★
8・9時間目	これからの保育環境 (研究授業)	★

# 3. 本校の研究実践 (3) 授業実践

## 命を育む(2時間目)

【ねらい】命の誕生、子どもを産み育てることの責任を実感する。

保育体験  
たまご赤ちゃん

おめでとうございます。  
男の子が誕生しました

名前は どうする？  
由来は？

お迎えは どうやって  
分担しよう？



2. 保育体験～たまご赤ちゃん～  
 たまごをわが子に見立てて顔を書き、協力して2週間で6年間として大切に育てていく。  
 「家族構成・家庭環境」  
 父・母・第1子  父・母・祖父または祖母・第1子  父または母・第1子  
 父・母・祖父・祖母ともにフルタイムで働いている。  
 母は産前・産後休業のみ取得し、父・母・祖父・祖母全員、育児休業は取得しない。  
 産後3カ月から保育所に預ける。  
 「実施方法」  
 ①放課後帰宅する前に（部活に行く前に）「保育所（調理準備室）」に子どもを迎えに行く。（2日目～）  
 ②自宅へ大事に連れて帰り母子健康手帳（MetaMoji）に保育日記を記入する。  
 ③学校に登校したら「保育所」に子どもを預ける（3日目～）  
 ④15日目は「小学校（調理準備室）」に子どもを送り、入学させる。  
 【登園時間】8：00～8：25  【降園時間】15：35～16：00（6限まで）  
 16：35～17：00（7限まで）  
 「実施期間」2週間  \*テストの時はお休み期間として保育所で1週間預かります。  
 その期間は子どもは成長しません。  
 1ABD

日	月	年齢	担当者	日	月	年齢	担当者	日	月	年齢	担当者
1日	9/11	誕生		6日	9/16	1歳		11日	9/28	3歳	
2日	9/12	1カ月		7日	9/17	1歳3か月		12日	9/29	4歳	
3日	9/13	3カ月		8日	9/18	1歳6か月		13日	9/30	5歳	
4日	9/14	6か月		9日	9/26	1歳9か月		14日	10/1	6歳	
5日	9/15	9か月		10日	9/27	2歳		15日	10/2	小学校入学	

# 3. 本校の研究実践 (3) 授業実践

## 保育体験の様子

出勤前に保育園に送り届け、退勤後お迎えに来て、連れ帰る。

毎日その月齢・年齢に合った今日の出来事を保育日記を記入。



吉城市 母子健康手帳

保護者の氏名 \_\_\_\_\_

ふりがな  
子の氏名 \_\_\_\_\_

生年月日 年 月 日 性別: \_\_\_\_\_

MetaMoji

1日目 9月11日(木) 記録:

ふりがな  
名 **赤ちゃんの名前**

名前由来

自分  
友達を  
えて生  
**名前由来**

二人から赤ちゃんへのメッセージ

心身ともに強くなってほしいです。その強さで友達を守り、大切にしてください。辛い時こそ自分を信じ、楽しんで人生を謳歌してほしい。



# 3. 本校の研究実践 (3) 授業実践

## 保育日記の記入例

### 今日の出来事 できるようになったこと

- 光が動くものに少し目が反応するようになった。
- うさぎをかけた時大きな音に反応していた。
- 泣き声の音量が変わってきたヨ。
- 手を握るようになってきた。
- ※体重が約5倍になっていた。



1カ月

- ・動くものに目が反応するようになった
- ・大きな音に反応する
- ・体重が1.5倍になった

## 【思考・判断・表現】Aの例

### 今日の出来事 できるようになったこと

今日は安定して歩けるようになりました。この前までは、歩きずらそうだったけど今ではたくさん歩いてくれています。  
最近では好奇心が出てきたのか、ティッシュや財布の中身を全部だして、ばらまいています。  
最近ではちょっとずつ乳歯が生えてきています。



1歳3か月

月齢・年齢の子どもの発達に合ったエピソードを考えて記入している

### 今日の出来事 できるようになったこと

最近では離乳食にチャレンジしている。今まではミルクだったから。歯も少しずつだけ生えてきた。お座りだってできるようになった。首は割と座ってきてるかな。あとは意思表示が増えた。感情を表に出して、嫌な事などは泣いたり抗議行動をしたりする。成長が見られる！素晴らしい

## MetaMoji



6カ月

### 今日の出来事 できるようになったこと

沢山お友達ができて沢山遊んでいます。友達とは喧嘩もよくしてるけど仲直りしてみんなで楽しそうに遊んでいてかわいいです。階段も詰まらず登れるようになっていたり、クレヨンで絵がかけられるようになっていて成長を感じます。



3歳

### 3. 本校の研究実践 (3) 授業実践

#### 子どもとの触れ合いから学ぶ(6.7時間目)

【ねらい】乳幼児の保護者にインタビューし、子育ての大変さややりがいを聞きながら、子どもとの触れ合いや関わり方の観察をする。

#### 子育て中の保護者にインタビュー

- ・飛騨市子育て応援課に協力していただき、子育て中の保護者12組(9組)を子育て支援センターに集めていただき、2,3時間目の2時間を使い、インタビューを行った。
- ・クラスごとに活動し、計4回実施した。
- ・インタビュー対象は未就園児(兄弟児ありの場合も)をもつ保護者



# 3. 本校の研究実践 (3) 授業実践

## 子育て中の保護者にインタビュー(一部抜粋)



5. 子育てをされていて「幸せだな」「楽しいな」と感じるのはどんな時か  
6. 子育てをされていてやりがいを感じる時はどんな時か

10. 飛騨市で子育てをされていてよいと感じることは



7. 子育てで「大変だな」「つらいな」と感じる時はどんな時か



11. どんな支援や取り組みがあればもっと子育てしやすくなると思うか

# 3. 本校の研究実践 (3) 授業実践

子育て中の保護者へのインタビューを通して、あなたにはどんな新しい発見や心の変化がありましたか？

改めて子育てって大変。  
どこかへ行ってしまったり、睡眠時間が削られたり。  
子供の笑顔には救われると  
いていたので、子育てをやっ  
てみたい。



子育ては大変  
だけどそれ以  
上に幸せなこ  
とが多い。  
周りの人たちの  
助けを頼ること  
も大切。

子育ては、改めて大変と  
思った。  
自分の親に感謝。  
子供の成長が感じられ楽  
しいこともある。



【思考・判断・表現】A

子どもを産み育てることの意義ややりがい、課題  
を理解している

### 3. 本校の研究実践 (3) 授業実践

#### これからの保育環境(8・9時間目)

【ねらい】子どもが健やかに育つ社会の実現のために、考えて実践しようとする。

<p>8時間目 研究授業</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>①インタビューの感想を共有し、リアクションシールを貼り、私のMSCを決める。</li><li>②グループ内で発表し、グループのMSCを決定する。</li><li>③発表</li><li>④保護者の困りごとに自分たちがどのように関わることができるのかグループで考える。</li></ul>
<p>9時間目</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>①グループを変え、前時で考えた子育ての課題を共有。</li><li>②グループとして解決したい課題を決定。</li><li>③課題を解決するための子育て応援イベントを考える。</li><li>④発表</li></ul>

# 3. 本校の研究実践 (3) 授業実践 研究授業

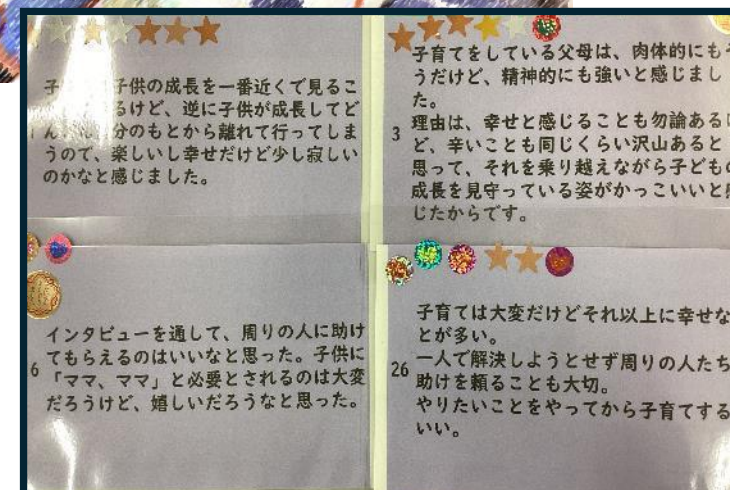
①インタビューの感想を共有し、リアクションシールを貼り、私のMSCを決める。



共感した:キラキラ♥  
自分にはない考え:☆  
MSC:



MSC=Most Significant Changes  
(じぶんにとって最も重大な変化)



# 3. 本校の研究実践 (3) 授業実践 研究授業

②グループ内で発表し、グループのMSCを決定する。

僕が選んだMSC  
はこのカードで、選  
んだ理由は～



みんなの選んだMSC  
を比較すると、この部分  
とこの部分は共通して  
いるよね



みんなはこの部分は  
どういう風に感じた？

多数決で決めるの  
ではなく、話し合い  
で意見をまとめてい  
くことを大事にした。

# 3. 本校の研究実践 (3) 授業実践 研究授業

## ③発表

グループで選んだMSCのキーワードとなぜそれを選んだのかを発表。選んだ理由を言語化することを大事にした。



子どもと遊んだ時必要とされてうれしかったけど、大変だった。子どもに必要とされるから子育ては楽しいし、大変だし、うれしいという考えになるほどと思った。

### 【主体的に学習に取り組む態度】Aの例

他の生徒のインタビューにおける気づきを主体的に理解しようとしている

自分の兄が家を出た時、両親が静かになったと言っていた。子どもが育つことはうれしいけれど寂しいという考えに共感したし、心に残った。

# 3. 本校の研究実践 (3) 授業実践 研究授業

④ 保護者の困りごとに自分たちがどのように関わることができるのかグループで考える。

子育て中の保護者が困っていることは何か、インタビューでどんなことを聞いたのか振り返る

保護者の声×吉高生  
 私たちが企画するイベントで関わることができる子育ての課題は何だろうか？  
 以前学習した飛騨市の子育て支援の現状も含めて考える

その課題を解決するためにどんなイベントが考えられるだろうか考える

## 子育て中の保護者の困りごと

イヤイヤ期	食事はできるけど食べてもらえない。友達からいらいらも伝わってきて、罵詈雑言で怒まかなだすのが大変。 命題になるほど理解が難しい。良くも悪くも人の真意を察する 子供の意思を尊重してあげたいけど、できないときもある ご飯をバラバラにしてしまった時 別に負けないと感じる時 なにを求めているかわからないとき ずっと「イヤ！」と言っているから大変。 スムーズにいかないこと 子どもの気持ちがあわかってあげられないこと
保育園	育児休暇中などの子を保育園にあずけることができなかったりするから保育園の制度の幅を広げてほしい もう少し柔軟な子どもの保育園を希望したい 保育園を預けられる仕事をして、なぐてもゆるんでほしい 保育園の料金が安い、数が少ない 保育園に気軽に入れない 育児休暇中だからの子を保育園にあずけられない、保育園の制度の幅を広げてほしい 保育園など長時間で預けられるところがほしい
お金	補助金が少ない(あつたつたなどが補填かかる) 子育てによる所得減をふくみ、厚くしてほしい(保育園に通うのにあたって毎月のお金がかかってしまうなど、なにをするにもお金がかかるから) お金の増え方が上がっていることが金銭的にいい。
時間	自分の時間が少ない(多数) やりたいことがやれないときや休めないときがある。 子ども中心の生活になってしまう ドラマが見れない、寝がたい 自分自身の自由の時間が少ないこと 子供に合わせて寝れないと寝れないこと 自分の時間がないから好きなことができない。 計画を立てて1日を通していても、子供が寝ない、すねたりして計画通り1日を通すことができないこと。 今まで計画通りにいっていたことが計画を立てて生活したくても計画通りにいかない。
睡眠	夜に、自分が寝れそうなのに子供が寝ないで泣く。 夜泣きが多かったりミルクをあげないで泣いたり寝ないで寝れない 子供が寝ないこと、寝不足になること 産後の体調おきに悩むのが大変 夜泣きやミルクで自分が寝不足になること。(多数)

自分の時間がない(多数)

短時間で簡単に預けられるところがほしい

夜泣きやミルクで寝不足になること(多数)

大きな公園など遊べる施設がもっとほしい

# 3. 本校の研究実践 (3) 授業実践 **研究授業**

## 評価基準【 態 】

他の生徒のインタビューでの気づきを主体的に自分のものにしようとしている。

	学習活動における 具体の評価規準 (B)	「十分満足できる」と 判断される状況 (A)
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の生徒のインタビューでの気づきに興味をもち、自分の気づきと比較することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の生徒のインタビューでの気づきに興味をもち、自分の気づきと比較してたり関連付けたりできる。</li> <li>そのように感じた背景を考えることができる。</li> </ul>
生徒の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の気づきと比較して共感できる考えや、全く異なる考えに興味をもっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の気づきと比較して共感できる考えや、全く異なる考えに興味をもち自分の家族や育てられた環境と関連付けて考えることができている。</li> </ul>
記入例	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育ては自分にはできないと思っていたけれどインタビューを通して幸せが大きいと聞いて興味をもった自分の思いと重なった。(64%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育ての大変さがわかったからこそ親に感謝したい。だから恩返ししたいし、そう子どもに思ってもらえるような子育てがしたい。(33%)</li> </ul>

# 3. 本校の研究実践 (3) 授業実践 **研究授業**

## 評価基準【思考・判断・表現】

子育てを自分ごととして捉え、自分たちができる改善案をだすことができる。

	学習活動における 具体的評価規準(B)	「十分満足できる」と 判断される状況(A)
評価	・困りごとを具体的にとらえ、改善策を考えることができる。	・困りごとの現状を把握し、その原因を考え、理想に近づくにはどうしたらよいか自分たちにできる改善策を考えることができる。
生徒の状況	・インタビューした困っていることを振り返り、改善策を考えている。	・保護者がどんなことに困っているのか、どうなることが理想なのかを考え、自分たちが関わる事ができる改善策を考えている。
記入例	・ママ友と交流できるブースを作る ・子育て支援の情報を書いたポスターを作る (69%)	・自分の時間がなかったり、イヤイヤ期に手を焼いている保護者に少しでも休んでもらうために、高校生で幅広い年齢に楽しんでもらえるイベントを考える。(31%)

### 3. 本校の研究実践 (3) 授業実践 **研究授業**

#### 授業後の課題と改善

- MSCを来年度以降継続して行うためにはMetaMojiを活用する。
- 課題の設定が難しく、課題を設定するためのプロセスを他の単元でも繰り返し練習する必要がある。
- 評価方法の見直し

# 4. まとめと今後の課題(1) 生徒の変容

## 単元を貫く課題

子どもが健やかに育つ社会のために、私たちは地域とどう関わり、共に行動できるだろうか。

### 授業前

学習前に単元を貫く課題についてどのように考えますか？(考えたこと、疑問点を書こう)  
- 地域の現状を知り、自分には何が出来るのかを考える。

地域の現状を知り、自分には何が出来るのか考える。

### 授業後

学習後に単元を貫く課題についてどのように考えますか？(学んだ知識や考えたことを用いてまとめをしよう)  
「子育て」や「子どもと関わる」という事に対してあまり興味がなかった。この単元を学ぶ前には地域の現状も知らなかった。でも、実際に子どもたちと遊んだり保護者の話を聞いて飛騨市の子育て支援はとても役に立っているとわかった。自分でできることを探して地域のために行動していきたい。

「子育て」や「子どもと関わる」ことに興味がなく、この単元を学ぶ前には地域の現状も知らなかった。でも、実際に子どもたちと遊んだり保護者の話を聞いて飛騨市の子育て支援はとても役に立っているとわかった。自分でできることを探して地域のために行動していきたい。

現状を把握した上で、地域のために行動したいと考えられた

# 4. まとめと今後の課題(1) 生徒の変容

## 単元を貫く課題

子どもが健やかに育つ社会のために、私たちは地域とどう関わり、共に行動できるだろうか。

## 授業前

学習前に単元を貫く課題についてどのように考えますか？(考えたこと、疑問点を書こう)

子どもが健やかに育つ社会のために、私たちが地域とどう関わり、共に行動できるだろうか。  
子供会とかで関わることもいいけど、地域と関わることもいいかな。子供会とかで関わることもいいかな。

子どもが健やかに育つ社会のために今の私は地域の関わり方が重要なかわからない。子供会で関わるのか。

## 授業後

学習後に単元を貫く課題についてどのように考えますか？(学んだ知識や考えたことを用いてまとめしよう)

幼児期は自分の視点を中心に考えるという特徴を理解し、子どもと関わる。地域で開かれるボランティアに積極的に参加したい。その時にはたくさん反応したり、手本を見せたりしたい。子どもがいる親、家族に温かく接して安心できる地域づくりをすることができる。

幼児期の子どもの特徴を理解して子どもと関わる。地域で開かれるボランティアに積極的に参加したい。その時にはたくさん反応したり、手本を見せたりしたい。子どもがいる親、家族に温かく接して安心できる地域づくりをすることができる。

- ・学んだ子どもの特徴を生かして子どもと接したいと考えることができた
- ・自分から子どもやその親と積極的に関わろうと思うことができた

# 4. まとめと今後の課題(1) 生徒の変容

## 自己評価

自己評価 (この単元での自分の学習活動を振り返ろう)  
この単元では、実践的施設をめぐって、仲間と今後の意見について交流したり、実践的な内容について自分事として捉えたりすることができた。自分の意見を自信を持って言うことができた。

自己評価 (この単元での自分の学習活動を振り返ろう)  
この単元では子どもと関わったり、卵を育てたり実践的な活動を通して学ぶことが多かった。子どもと関わる時は学んだことを生かし、大切に扱われたと思う。イベントを考えるときには保護者と子どもは同じ部屋がいいだろうなど、インタビューの経験を生かす話あいがあった。主体的に学習できた。

実際にインタビューしたり、仲間と育児について交流したり、実践的な内容にだったので自分事として捉えることができた。自分の意見を自信を持って言うことができた。  
子どもが生まれる親戚にも話を聞いてみたい。

この単元は子どもと関わったり、卵を育てたり実践的な活動を通して学ぶことが多かった。子どもと関わる時は学んだことを生かし、大切に扱われたと思う。イベントを考えるときには保護者と子どもは同じ部屋がいいだろうなど、インタビューの経験を生かす話あいがあった。主体的に学習できた。

- ・実践的な学びを通して主体的に学ぶことができた
- ・学んだことを次の学びに生かす姿勢が見られた

# 4. まとめと今後の課題(1) 生徒の変容

## 将来子どもがほしいですか？

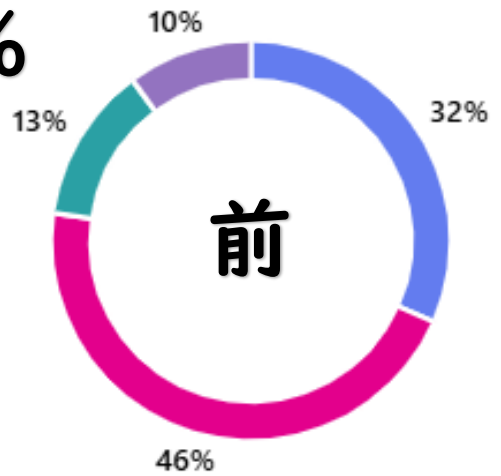
Microsoft Forms

- ぜひ欲しい
- どちらかという欲しい
- どちらかという欲しくない
- 欲しくない

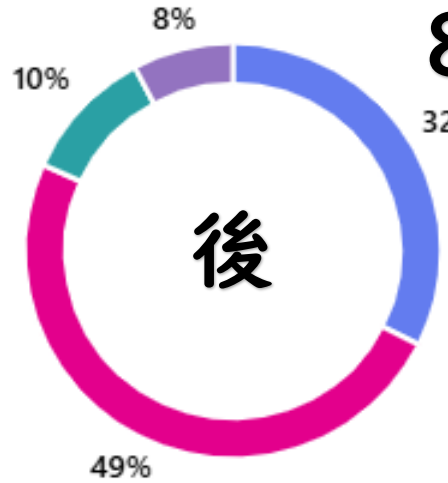
### ほしい理由

・大変なこともあると思うけど、子供の成長を一番近くで見守れるから  
つらいことや悩むこともあると思うけど、それ以上に子供の成長を一番近くで見れるのはうれしいから。

78%



81%



### ほしくない理由

・自分にそんな責任を背負えるとは思わないから  
・子育ては幸せが増えるだろうけど自分には子育ては荷が重く感じられて不安が大きいから。

子育ては幸せだけれど、自分には難しいと  
考えている

子育ての大変さを分かった上で、それ以上のものがあるから育てたいと考えている

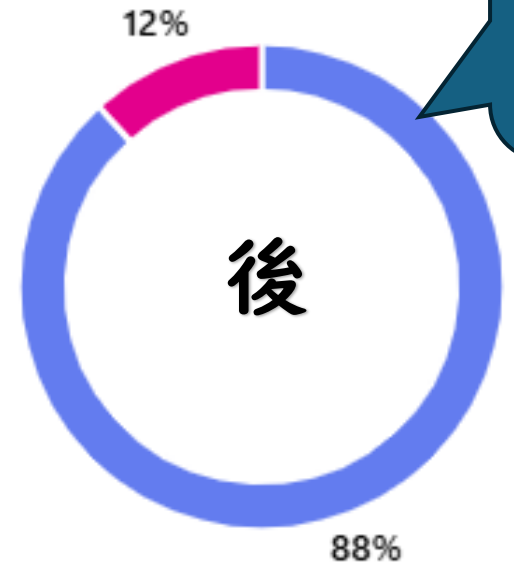
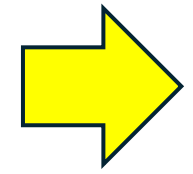
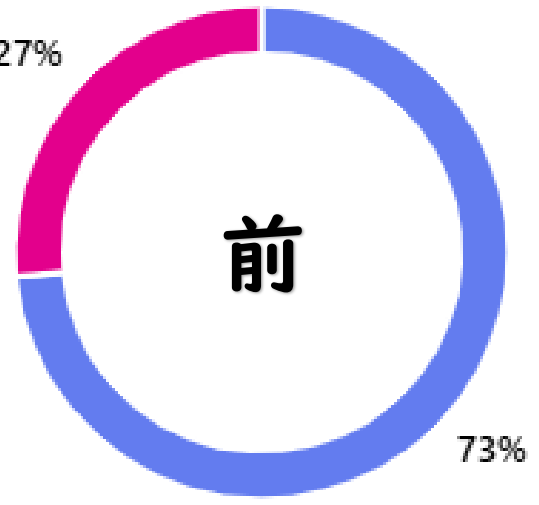
# 4. まとめと今後の課題(1) 生徒の変容

子育てを社会全体で支えることは重要だと思いますか？

Microsoft Forms

100%

- とても重要だと思う
- 重要だと思う
- あまり思わない
- まったく思わない 27%
- わからない



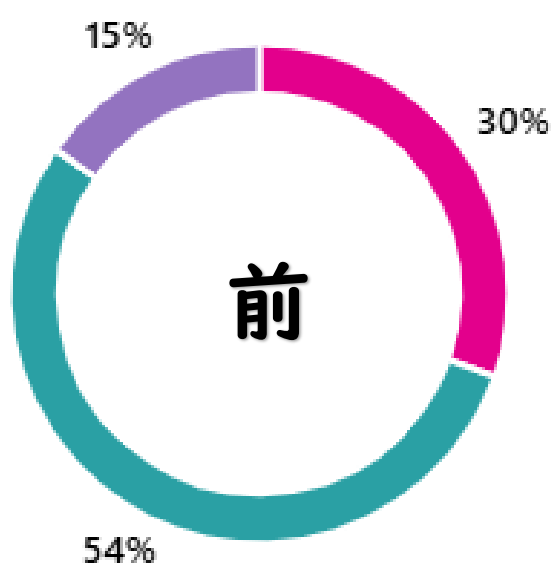
重要と考える生徒が15%増加

# 4. まとめと今後の課題(1) 生徒の変容

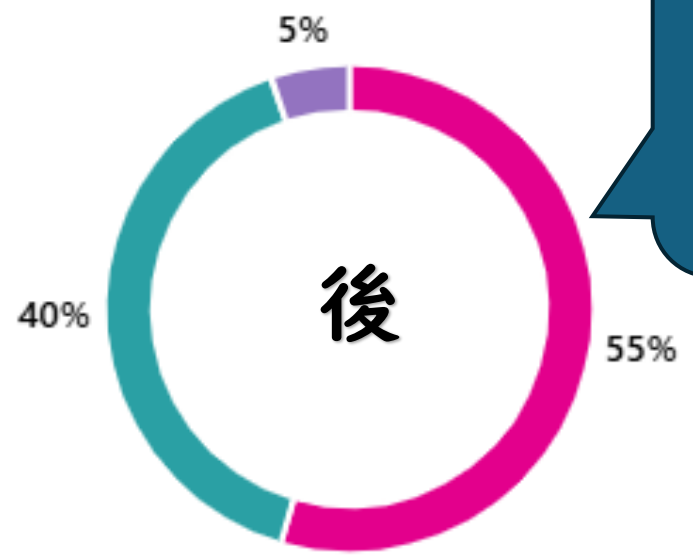
Microsoft Forms

自分の住む地域の保育や子育てに関する支援について、どのくらい知っていますか？

- よく知っている
- ある程度知っている
- あまり知らない
- まったく知らない



69%  
→



ある程度知っているが55%に増加

## 4. まとめと今後の課題(2) 成果と課題

### 成果と課題

- 様々な人と協働して課題解決に向けて主体的に行動できる生徒はおおむね達成できた。
- 生徒自身が主体的に学び、探究し、発見することで、より深い学びを実現することがわかった。
- 知識を習得することは必要であるが、その知識を生かす実践的な場面が重要である。